

◆2024年 年頭所感

「みどり」を通じて
地域貢献を

佐賀県造園建設業協会会長 村山 優



新年あけましておめでとつございます。
県民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当協会の事業運営につきまして、格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年も、例年に引き続き、日本各地において地震や台風により甚大な被害がもたらされました。特に、7月には、唐津市から佐賀市の山間部で線状降水帯が発生し、農地、河川、道路等の施設被害や土砂災害等により住家被害が生じました。

被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

このような中、私も佐賀県造園建設業協会は、地震、風水害その他災害が発生する場合において、佐賀県が行う応急対策等に対する応援協力及び緑化啓発活動等について、その運営を適正かつ円滑に運営するために、佐賀県と平成30年5月に「災害時の応援協力及び緑化啓発活動等に関する協定」を締結いたしました。

この協定により、私ども協会員は、県から要請を受け公共施設等の倒木等の障害物の撤去や応急復旧、保護活動等をおこない、今後とも、当該協定の基づき応援協力を行い、県政に寄与したいと思いをもちます。

一方、県土の緑化推進活動につきましては、令和5年度は、協定に基づき、佐賀市の金立公園のコスモス祭り会場や鳥栖市の市民公園で花の寄せ植え教室や花苗の無料配布等を行い、多くの市民の参加があり、緑化啓発に寄与しました。

また、「花と緑を育む地域づくり推進事業」に基づき県の補助を受け、県内の各地域(今年度は、鳥栖、唐津、武雄地域)の道路等の緑地帯において、行政・地域ボランティア団体と一体となり、季節の花苗等を植え花壇を創るなど緑化活動を行い、この活動も5年目になり地元に着実にまわりました。

このような中、令和6年秋には、2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催がされます。この大会の開催を通じて県内のスポーツの力を生かし、新たな佐賀県の未来を切り開くため、私ども協会も緑化啓発活動を通じて大会の成功及び県民の緑化意識の向上に取り組んでまいります。

さらに、佐賀県の魅力をなす一層、全国に発信するため、2028年には「全国都市緑化フェア」の佐賀県での初開催が予定されています。ご承知の通り全国都市緑化フェアは、花や緑に関する国内最大のイベントであり、「緑のまちづくり推進」「市民の緑化意識の向上」「都市緑化に

関する知識の普及」等を図ることにより、緑豊かな潤いのある街づくりの実現を目指して全国各都市で開催されています。

私ども協会も主催者である都市緑化機構や県と一体となり、今まで以上に、県民の緑化意識の向上に努め、佐賀県での全国都市緑化フェアの実現に県民の理解を得るよう努力してまいります。

最後になりましたが、私たち協会・造園業界は、今後とも「みどり」を通じて、地域に貢献してまいりますので、皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

皆様にとりまして、今年がより良い年になりますよう、ご祈念申し上げます。

身近に感じてもらう
緑空間を創ろう

佐賀県造園協同組合理事長 松隈 邦博



県民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より、当組合の事業運営につきましては格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年県におかれましては、SAGAアリーナがオープンされ、B1バルナーズのプロバスケットボールが華々しく

誕生しました。また今年は、国民スポーツ大会が県内各地で開催され、楽しく心躍る年になりそうと、皆様も心待ちにされていると思います。

しかしながら世界に目を向ければ、2年目に入ったロシアのウクライナ侵攻、また10月に勃発したイスラエルとパレスチナ、ハマスによる戦争等、人間の欲望や憎しみが世界の平和をこれほどまでに遠くしてしまうのかと感じられずにはおられません。皆様も平和の尊さを強く感じておられることと思います。今後平和な日本も世界の地政学の中に、益々取り込まれてゆく

ではと危惧いたします。

私達の造園、緑化産業はまさに平和産業で、人々の目を楽しませ、心に癒しを感じてもらい、文化や教育をも含んだ仕事をさせていただいているわけですが、今ほどそれを強く思わずにはいれません。

昨年11月初旬、4年ぶりに佐賀バルーンフェスタが嘉瀬川堤で開催されましたが、会場内に当組合青年部が、憩いの場づくりをしてくれました。会場内に緑の空間を創り、その囲みでパレットによるベンチ、寄り付きを提供させていただきました。来場者がそこに座られ、なごんでおられ

る姿を見ると、人間はみどりがあると無意識のうちにそこに身を置くという原則みたいなものがあると強く感じられました。

最近では、庭空間はメンテナンスがかり落ち葉が落ちる等、負としてとられる面が多くなり、伐採、除去を余儀なくされつつあり残念なことです。

また、異常気象が今では毎年のように起き、多くの被害が世界中で発生しています。

CO2削減が大きな社会的責務となりつつありますが、私たちがあつかう緑を通して皆様にも緑がCO2吸収していると理解していただき、庭

にも積極的に増やしてもらうればと願っております。我が家の庭木はどのくらいのCO2を吸収してくれているのかなど肌で感じてもらうのが大切なことと思います。

バラエティーに富んだ緑空間、身近に感じてもらう緑空間を創ることを組合の理念とし、今後も組合、組合員一丸となって緑と花でいっぱい県土づくりに少しでも貢献できるよう事業運営に取り組めます。皆様のご理解、ご支援を宜しくお願い致します。

今年も皆様にとりまして、より良き年になりますよう、ご祈念申し上げます。

